

## 安全データシート

製品名 CYCLODODECANONE (CDON)

バージョン 5  
作成年月日 2003/7/1  
改訂年月日 2014/7/28

## 1. 化学物質等及び会社情報

製品名 CYCLODODECANONE (CDON)  
シクロドデカノン

会社名 ダイセル・エボニック株式会社

住所 〒163-0913 東京都新宿区西新宿 2 丁目 3 番 1 号 新宿モノリス 1 3 階

担当部門及び連絡先 東京本社 営業部 Tel 03-5324-6332 Fax 03-5324-6336  
大阪営業所 営業部 Tel 06-6342-6712 Fax 06-6342-6718

緊急連絡先 東京本社 営業部 Tel 03-5324-6331  
網干工場 品証・製品安全部 Tel. 079-273-3872

MSDS作成 網干工場 品証・製品安全部  
〒671-1281 姫路市網干区新在家 1 2 3 ！ Tel 079-274-3872 Fax 079-274-3927

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性  
健康に関する有害性  
環境に対する有害性

水性環境慢性有害性 区分2

ラベル要素  
絵表示又はシンボル



注意喚起語

## 危険有害性情報

物理的および化学的危険性  
人の健康に対する有害な影響  
環境への影響

H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性 (H411)

注意書き 安全対策 P273 環境への放出を避けること  
応急措置 P391 漏出物を回収すること。  
保管  
廃棄 P501 内容物/容器を都道府県/市町村の規則にしたがって廃棄すること。  
国・地域情報

## 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 化学物質  
一般名 シクロドデカノン  
化学式 C12H22O  
成分および含有量

(名称)	(CAS番号)	(官報公示整理番号)
シクロドデカノン	830-13-7	3-2379

## 危険有害成分

労働安全衛生法 名称等を通知すべき有害物 該当せず  
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) 第一種指定化学物質 該当せず

## 4. 応急処置

応急処置方法 自身の保護に十分注意すること。  
危険区域から被災者を移動させること。  
被災者を保温し、楽な姿勢をとらせ、十分保護すること。  
被災者を一人で残さないこと。

吸入した場合 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
医師の手当、診断を受けること。

皮膚に付着した場合 多量の水と石鹸で洗うこと。  
加熱された製品と接触した場合、痛みがなくなるまで冷水で冷やすこと。固まった製品ははがさず、すぐ医師の診察を受けること。  
溶融物で火傷をした時は治療を受けること。  
汚染された衣類を脱ぐこと。  
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

眼に入った場合 目を開けた状態ですぐに大量の水で少なくとも10分間十分に洗浄すること。  
直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。  
医師の手当、診断を受けること。

## 予想される急性症状及び遅発性症状

最も重要な兆候及び症状	情報なし。
応急措置をする者の保護	救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。
医師に対する特別な注意事項	情報なし。

## 5. 火災時の処置

消火剤	小火災：粉末消火剤、二酸化炭素、散水、泡消火剤 大火災：散水、水噴霧、泡消火剤
使ってはならない消火剤	棒状注水
特有の危険有害性	火災によって 一酸化炭素、二酸化炭素、分解性生物などが発生するおそれがある。 条件によっては少量の有害物が生成する恐れがある。
特有の消火方法	特になし。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣（耐熱性）を着用する。

## 6. 漏出時の処置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	粉塵が発生した場合：マスクを着用する。
環境に対する注意事項	環境中に放出してはならない。
除去方法	工具を使用すること。 内容物を記載した密閉容器に回収する。 処分する場合は法令に準拠すること。
封じ込め及び浄化の方法・機材 二次災害の防止策	危険でなければ漏れを止める。 すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火災の禁止。）

## 7. 取扱い及び保管上の注意事項

取扱い	
安全取扱い注意事項	すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 ダストの発生を防止すること。 装置周辺で、適切な換気装置や集塵装置を用いること。 高熱工程でミストが発生するときは、空気汚染物質を許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。
接触回避	ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。 接触、吸入又は飲み込まないこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 環境への放出を避けること。
保管条件	
技術的対策	防火のための一般的な基準を適用すること。 ダストが発生したら 静電気に対する予防処置をとり、着火原から話すこと。
保管条件	容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。 不活性ガス化で保存すること。 容器は直射日光や火気を避けること。
混触危険物質 容器包装材料	「10. 安定性及び反応性」を参照。 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

## 8. 暴発防止及び保護措置

技術的対策	高熱工程でミストが発生するときは、空気汚染物質を許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。 ダストの発生を防止すること。 装置周辺で、適切な換気装置や集塵装置を用いること。
管理濃度	未設定
許容濃度	未設定
保護具	
呼吸器の保護具	粉塵が発生する時には出すとマスクを着用する。 高温の製品から発生する蒸気を吸引しないこと。 製品の加熱過程で、周囲の空气中に蒸気が広がる可能性のあるときは 最適なフィルター（フィルタータイプA）が入った呼吸用保護具を使用するか、呼吸用装置を備えた保護服を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具	化学飛沫用のゴーグル及び適切な顔面保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣、顔面用の保護具を着用すること。
衛生対策	化学品を扱う上での一般的なルールに従うこと。 蒸気／粉塵を吸わないこと。 汚染された衣服は着用しないこと。 皮膚と目への接触を避ける。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など	無色の結晶
臭い	樟脳臭
pH	中性
融点・凝固点	約61℃（融点）
沸点、初留点及び沸騰範囲	277℃
引火点	118℃
爆発範囲	爆発性ではないが、粉塵が発生した時には粉塵爆発の可能性がある。
蒸気圧	0.71hPa(20℃)
蒸気密度（空気 = 1）	データなし
比重（密度）	0.97g/cm <sup>3</sup> （密度）
溶解度	約26mg/l
オクタノール/水分分配係数	データなし
自然発火温度	280℃
分解温度	指定の条件下では分解しない。
臭いのしきい（閾）値	データなし
蒸発速度（酢酸ブチル = 1）	データなし
燃焼性（固体、ガス）	データなし
粘度（動的）	非該当

## 10. 安定性及び反応性

安定性	通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	自然発火の可能性あり（120℃以上で酸素の存在下）
避けるべき条件	特に危険性は知られていない。
混触危険物質	情報なし。
危険有害な分解生成物	燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素、熱分解性生物などが生成される。

## 11. 有害性情報

急性毒性 経口	ラットを用いた経口投与試験のLD50 >2500m g/ k g
経皮	データなし。
吸入(ガス)	データなし。
吸入(蒸気)	データなし。
吸入(ミスト)	データなし。
皮膚腐食性・刺激性	ウサギを用いた皮膚刺激性試験結果において「軽度の刺激性あり」。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	ウサギを用いた眼刺激性試験結果において、「刺激性なし」。
感受性	モルモットによる試験で感受性を示さず。
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	区分外。
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	データがなく分類できない。
吸引性呼吸器有害性	吸引危険性に該当せず。
発がん性	データがなく分類できない。
変異原性	バクテリア、哺乳類細胞を用いた試験では変異原性を示さず。
生殖毒性	データがなく分類できない。
催奇性	データがなく分類できない。

## 12. 環境影響情報

生態毒性 魚類への毒性	データがなく分類できない。
水生無脊椎生物への毒性	甲殻類（オオミジンコ） EC50 2.5mg/L/48Hr
藻類への毒性	セネデスムス EC50 7.7mg/L/72Hr
残留性/分解性	
分解性	暴露時間 2 8 時間 分解率 93% 易分解性
生体蓄積性	生態濃縮性は無いと推定される。
土壌中の移動性	土中の成分の吸着性に著しく影響される。

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	<p>焼却処理する時は、管理された焼却設備を用いて、廃掃法、大気汚染防止法、水質汚濁防止法に沿って処理すること。</p> <p>焼却時には有毒なガスが発生する可能性があるため、換気に注意すること。</p> <p>廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。</p> <p>廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。</p> <p>都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理している場合は委託して処理する。</p> <p>廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。</p> <p>燃焼法可燃性の溶剤等と共に、アフターバーナ及びスクラバ付き焼却炉の火室へ噴霧し、焼却する。</p> <p>活性汚泥処理低濃度の廃水は活性汚泥処理装置で処理する。</p>
-------	---

**安全データシート****製品名** CYCLODODECANONE (CDON)

バージョン 5

作成年月日 2003/7/1

改訂年月日 2014/7/28

**汚染容器及び包装**

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。  
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

**14. 運送上の注意**

<b>国際規制</b>	海上輸送はIMOの規則に、航空輸送はICAO/IATAの規則に従う。
<b>国連番号</b>	3077
<b>国連品名</b>	シクロオクタジエン
<b>国連危険有害性クラス</b>	9
<b>容器等級</b>	III
<b>海洋汚染物質</b>	該当
<b>国内規制</b>	海上規制情報 船舶安全法の規定に従う。
	航空規制情報 航空法の規定に従う。
	陸上規制情報 消防法の規定に従う。
<b>特別安全対策</b>	移送時にイエローカードの保持が必要。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。
<b>緊急時応急措置指針番号</b>	171

**15. 適用法令**

<b>化学物質等に適用される法規制</b>	
労働安全衛生法（法第57条の2）	該当せず
労働安全衛生法（施行令別表第1第4号）	該当せず
化審法	登録済化学物質
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	該当せず
毒物及び劇物取締法	該当せず
消防法	非危険物
安全保障貿易管理制度	該当せず

**16. その他の情報****参考文献**

JISZ7253 : 2012 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル,作業場内の表示および安全性データシート  
EVONIK社 SDS

**制約事項**

本製品安全データシートは現時点における当社の知見に基づき、安全性確保の観点から記載されたものです。  
従ってこの安全データシートに記載されている内容が、本製品の特性を保証したものでない旨をあらかじめご承知おきください。

**記載事項内容の問い合わせ**

網干工場 品証・製品安全部  
ダイセル・エボニック株式会社  
電話 079-274-3872